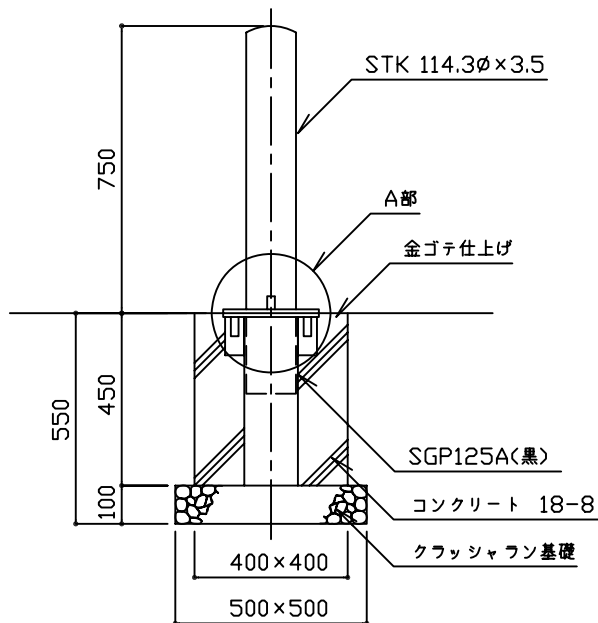
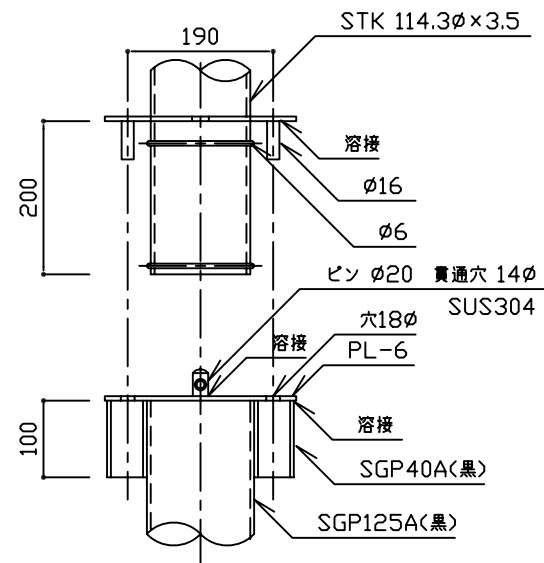
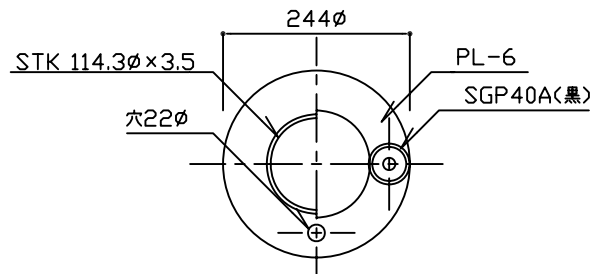


平面図 1/20



立面図 1/20



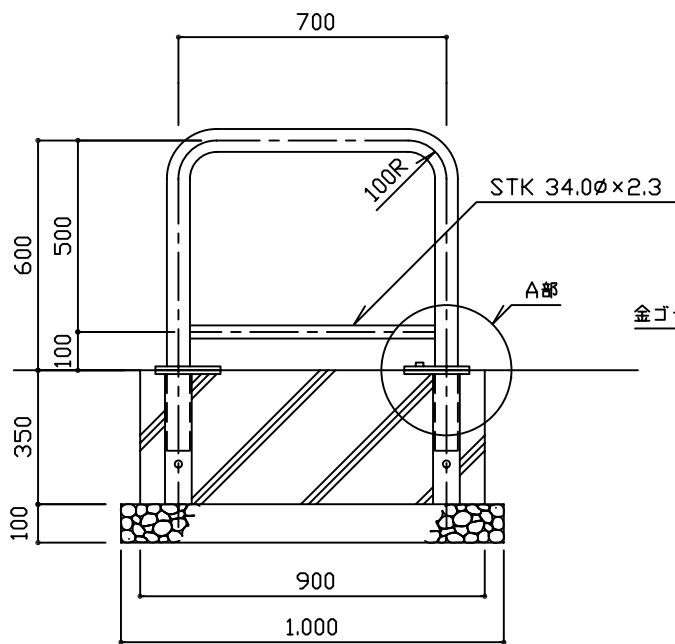
A部詳細図 1/10

特
記

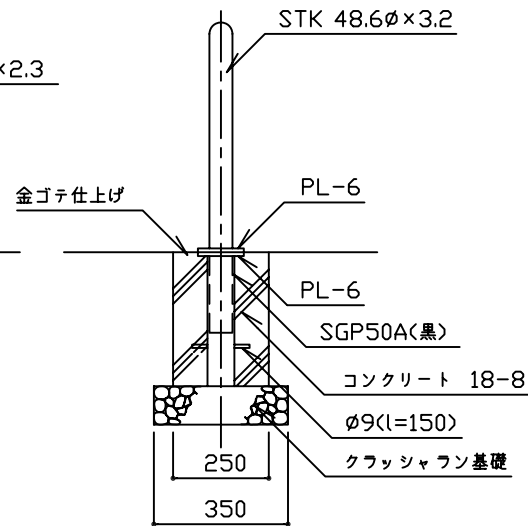
- ・クラッシャラン基礎は、再生材 (RC-40) とする。
- ・コンクリートは、高炉Bとする。
- ・鉄部は、電気亜鉛めっき (2種4級以上) のうえ、メラミン樹脂焼付塗装またはアクリル樹脂焼付塗装 (埋込部黒色、地上部指定色) とする。
- ・錠取付け用ピンの位置は、公園内側とする。
- ・ダスト舗装等、土系舗装部に設置する場合は、コンクリート基礎の天端に面取りを行う。

車止め

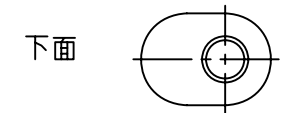
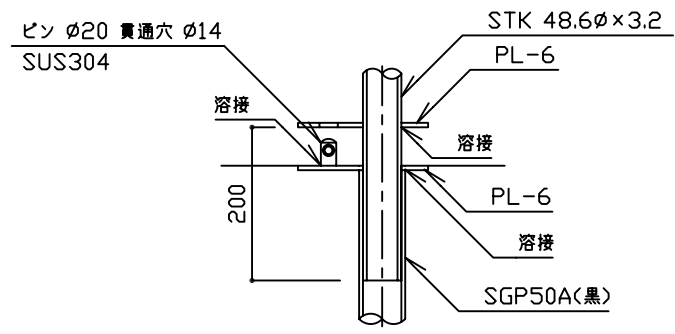
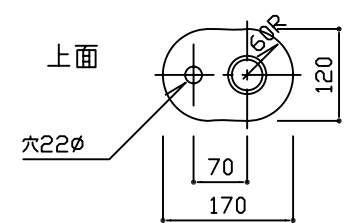
縮尺	図示	KU-AST
日付	H20.7	



立面図 1/20



断面図 1/20

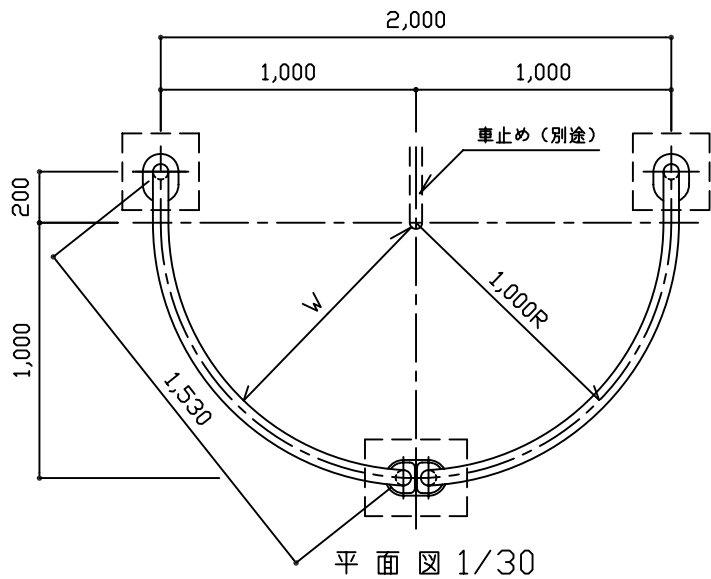


A部詳細図 1/10

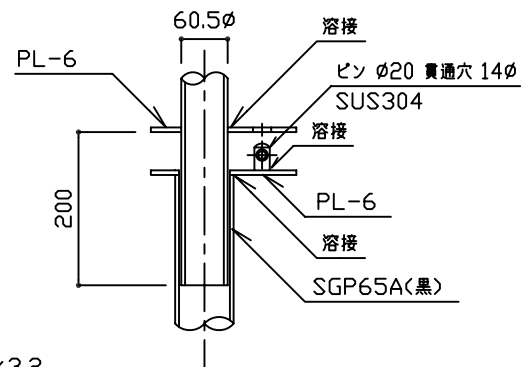
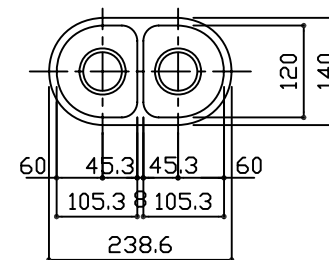
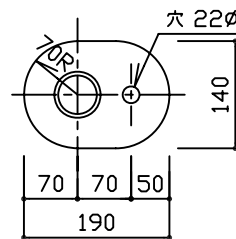
特記

- ・クラッシュラン基礎は、再生材 (RC-40) とする。
- ・コンクリートは、高炉Bとする。
- ・鉄部は、電気亜鉛めっき (2種4級以上) のうえ、メラミン樹脂焼付塗装またはアクリル樹脂焼付塗装 (埋込部黒色、地上部指定色) とする。
- ・ダスト舗装等、土系舗装部に設置する場合は、コンクリート基礎の天端に面取りを行う。

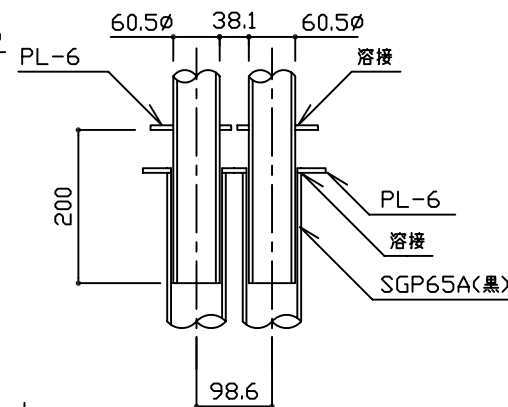
車止め		
縮尺	図示	KU-BST
日付	H20.7	



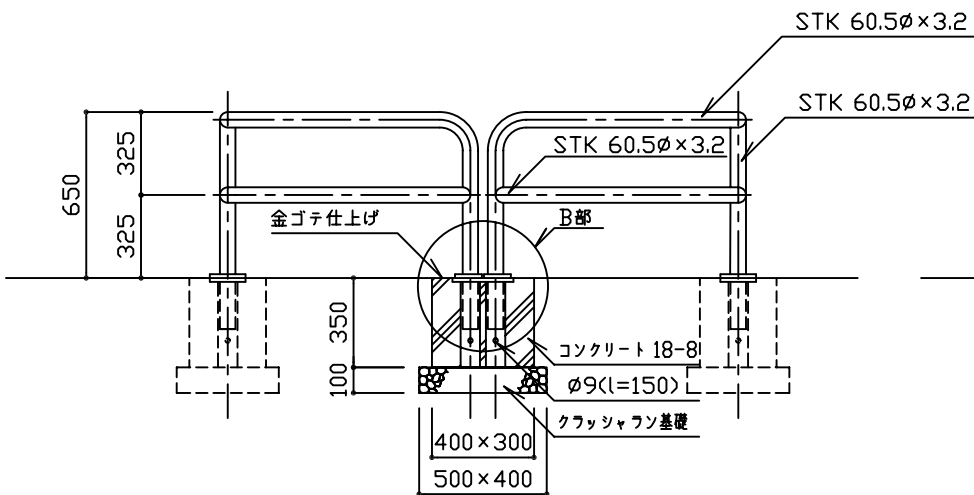
平面図 1/30



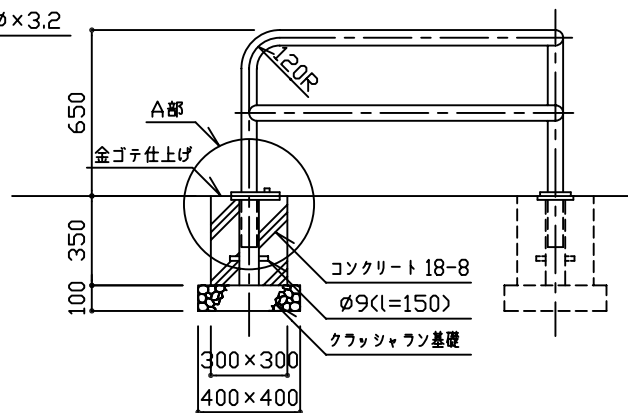
A部詳細図 1/10



B部詳細図 1/10



断面図 1/30



断面図 1/30

特記

- ・クラッシュラン基礎は、再生材 (RC-40) とする。
- ・コンクリートは、高炉Bとする。
- ・鉄部は、電気亜鉛めっき (2種4級以上) のうえ、メラミン樹脂焼付塗装またはアクリル樹脂焼付塗装 (埋込部黒色、地上部指定色) とする。
- ・組み合わせて設置する車止めは、有効幅員 (W) 900が確保できるものとする。
- ・ダスト舗装等、土系舗装部に設置する場合は、コンクリート基礎の天端に面取りを行う。

車止め

縮尺	図示	KU-CST
日付	H20.7	

車止め:差込式

10基当り

名 称	規 格	単位	数 量		
			KU - AST	KU - BST	KU - CST
クラッシュラン	RC-40	m ³	0.25	0.35	0.52
コンクリート	18-8 高炉B	m ³	0.65	0.77	0.99
車止め	KU - AST	基	10.0		
車止め	KU - BST	基		10.0	
車止め	KU - CST	基			10.0
(車止めの重量)		kg	280	190	800

車止め:差込式(上部のみ)

10基当り

名 称	規 格	単位	数 量		
			KU - AST	KU - BST	KU - CST
車止め	KU - AST(上部のみ)	基	10.0		
車止め	KU - BST(上部のみ)	基		10.0	
車止め	KU - CST(上部のみ)	基			10.0
(車止め上部のみの重量)		kg	170	140	670

1. 主要材料を記載している。
2. 数量は、出来上がり数量(割り増しを考慮しない数量)としている。
3. 数量は、1以上の場合は小数点以下1位(下位四捨五入)、1未満の場合は小数点以下2位(下位四捨五入)としている。ただし、0.01未満の場合は有効数字1桁(下位切り捨て)としている。